

○平成二十四年総務省告示第四百二十二号（無線設備規則別表第一号注 36 に基づく別に定める特定小電力無線局の無線設備及び周波数の許容偏差を定める件）の一部を改正する告示案 新旧対照表 （傍線部分は改正箇所）

改 正 案		現 行	
次の表の左欄に掲げる特定小電力無線局の無線設備の周波数の許容偏差は、それぞれ同表右欄のとおりとする。		[同左]	
特定小電力無線局の無線設備	周波数の許容偏差	特定小電力無線局の無線設備	周波数の許容偏差
[一～八 略]	[略]	[一～八 同左]	[同左]
九 915.9MHz 以上 929.7MHz 以下の周波数の電波を使用する <u>無線設備。ただし、一の単位チャネル（中心周波数が 916MHz 以上 928MHz 以下の周波数にあつては、916MHz に 200kHz の整数倍を加えたものであつて帯域幅が 200kHz のチャネルを、928.15MHz 以上 929.65MHz 以下の周波数にあつては、928.15MHz に 100kHz の整数倍を加えたものであつて帯域幅が 100kHz のチャネルをいう。）を使用するものにあつては、指定周波数帯によることができる。</u>	20(10 ⁻⁶)	九 915.9MHz 以上 929.7MHz 以下の周波数の電波を使用する <u>無線設備</u>	20(10 ⁻⁶)
[十 略]	[略]	[十 同左]	[同左]

附 則
この告示は、平成二十九年十月一日から施行する。